

<ドライバーのカスタムプロパティとは・・・>

カスタムプロパティはドライバーを直接操作することができます。

しかし、カスタムプロパティは必ずしも VideoKeeperLite と同期していません（また、ドライバーに機能はあるが、構造上アプリケーションから制御できない機能もあります）。

解説に記載されている以外の機能を操作すると、製品が正常に動作しなくなる場合があるため、本書に記載されている機能のみ操作してください。

<ドライバーのカスタムプロパティ各機能の解説>

●表示位置調整 (Video Offset) 機能に関して

同じ解像度でも機器の違いによって、微妙に画面の表示位置が異なる映像があります。

このような微妙なズレを調整する機能が「表示位置調整 (Video Offset)」です。

あくまで微調整用であるため、大きなズレには対応できない場合があります。可能な範囲内で調整していただくこととなります（調整しても効果のない映像もあります）。

※表示位置は現在 VideoKeeperLite で使用している解像度に対して行われます。

<VideoKeeperLite から「カスタムプロパティ」を操作する方法>

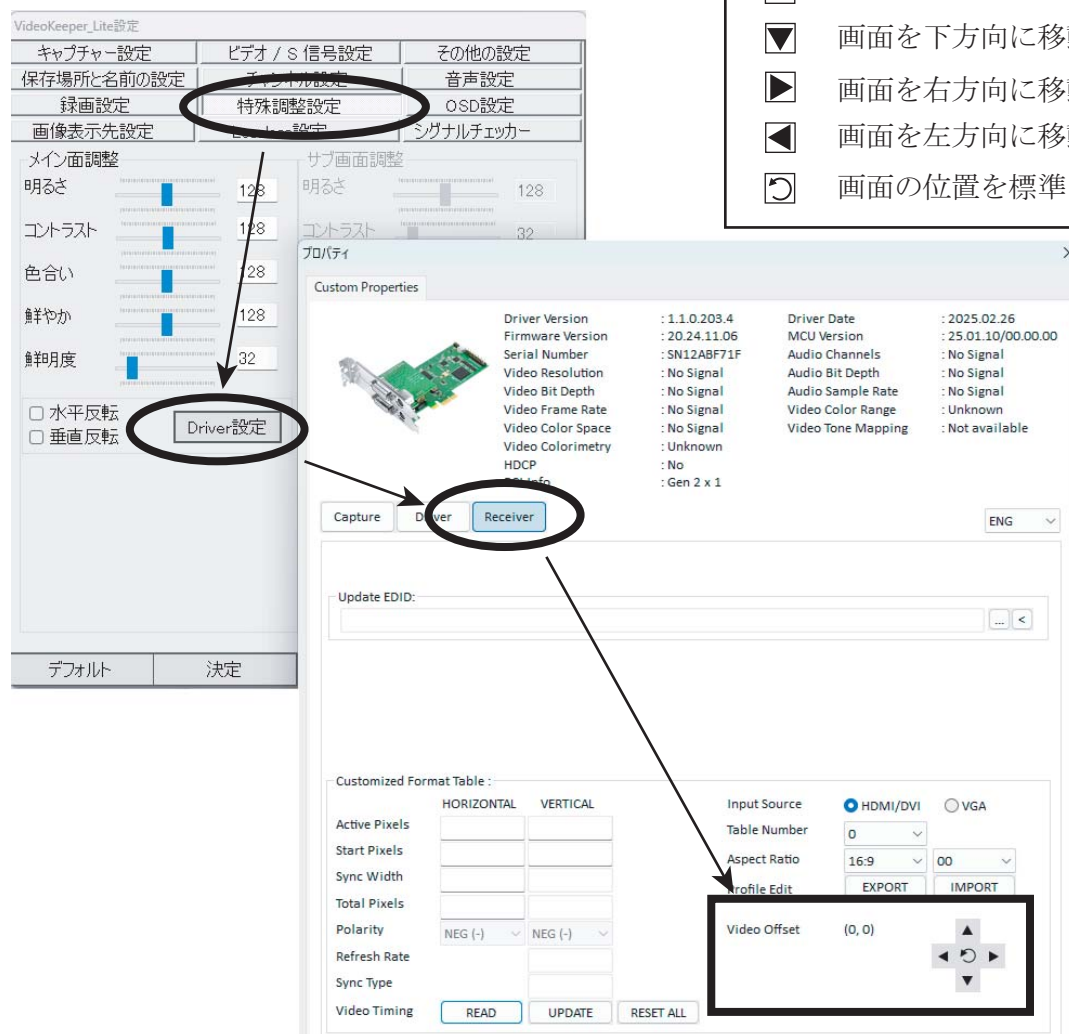
- ①「設定」をクリック。
- ②「特殊調整設定」をクリック。
- ③「Driver設定」をクリック。
- ④「Receiver (レシーバー)」をクリック。
- ⑤「Customized Format Table」の「Video Offset」の操作ボタンをクリックして調整してください。
- ⑥表示位置の調整を完了する場合は「OK」ボタンを押してください。

※大幅に調整すると、画面が乱れたり、表示位置がさらにズレてしまったり、映像がフリーズする場合があります。

※コンポジット・ビデオで表示位置調整を行った際に、画面の上部が歪む場合は、「ページC2」を参考にしてください。

<操作ボタン解説>

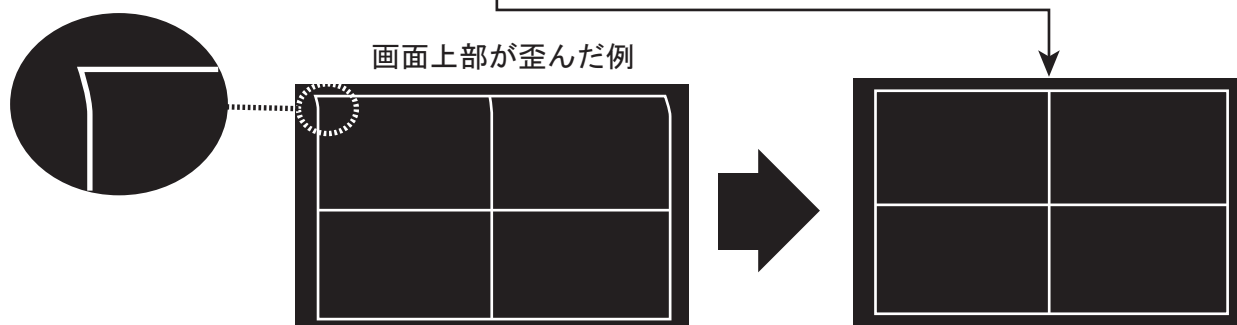
- ▲ 画面を上方向に移動します。
- ▼ 画面を下方向に移動します。
- ▶ 画面を右方向に移動します。
- ◀ 画面を左方向に移動します。
- ↻ 画面の位置を標準に戻します。



●特定の家庭用ゲーム機の「コンポジット・ビデオ映像」で、画面の表示位置(OFFSET)を垂直方向(上下方向)調整すると、画面の上部が水平方向に「ゆがむ」映像に対する調整

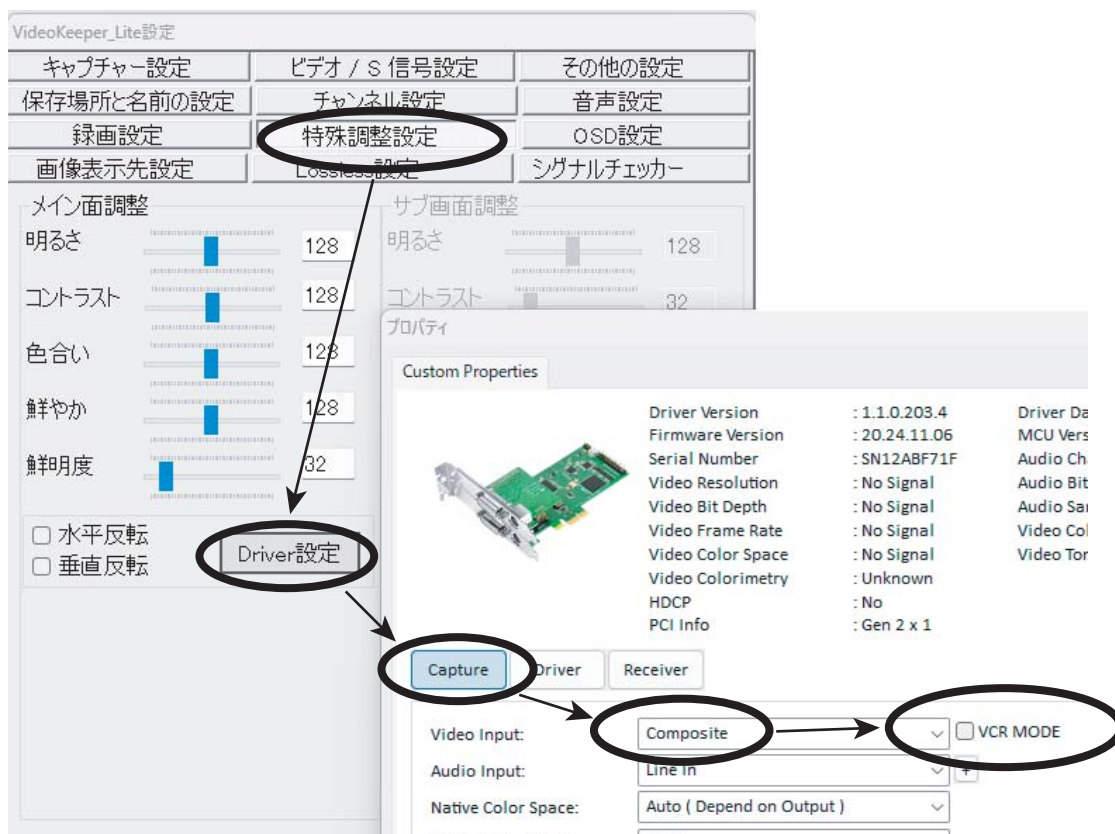
特定のゲーム機のコンポジット・ビデオ映像では「表示位置調整(ページC1)」を行うと、画面の上部が水平方向に若干歪んでしまうものがあります。

このようなときは「VCR MODE」を「☒オン」にすることで、改善できる場合があります。



<VideoKeeperLite から「カスタムプロパティ」を操作する方法>

- ①「設定」をクリック。
- ②「特殊調整設定」をクリック。
- ③「Driver設定」をクリック。
- ④「Capture (キャプチャー)」をクリック。
- ⑤Video Inputが「Composite (コンポジット・ビデオ)」であることを確認後、「VCR MODE」のチェック・ボックスをクリックして「☒オン」にします。
- ⑥表示位置の調整を完了する場合は「OK」ボタンを押してください。



※「VCR MODE」が「☒オン」でも、「表示位置調整(ページC1)」を再度行くと再度歪みが再発するため、その際は「VCR MODE」を「☒オン→オフ→☒オン」のように再設定する必要があります。

「VCR MODE」は「表示位置調整(ページC1)」が完了した後で設定することをおすすめしています。

●アナログRGB映像(VGA)で特定の解像度で発生する画面にピンク色のノイズへの調整

特定のパソコンの解像度や機器において、アナログRGB映像で、キャプチャー後の画面に、ピンク色のノイズのようなものが表示される場合があります。

これは、主にVideoKeeperLiteの「内部カラーモード」が「RGB」モードのときに視認できます。

(「YUY2」モードでも発生していると思われますが、色解像度が低いために視認できないだけだと考えられます)。

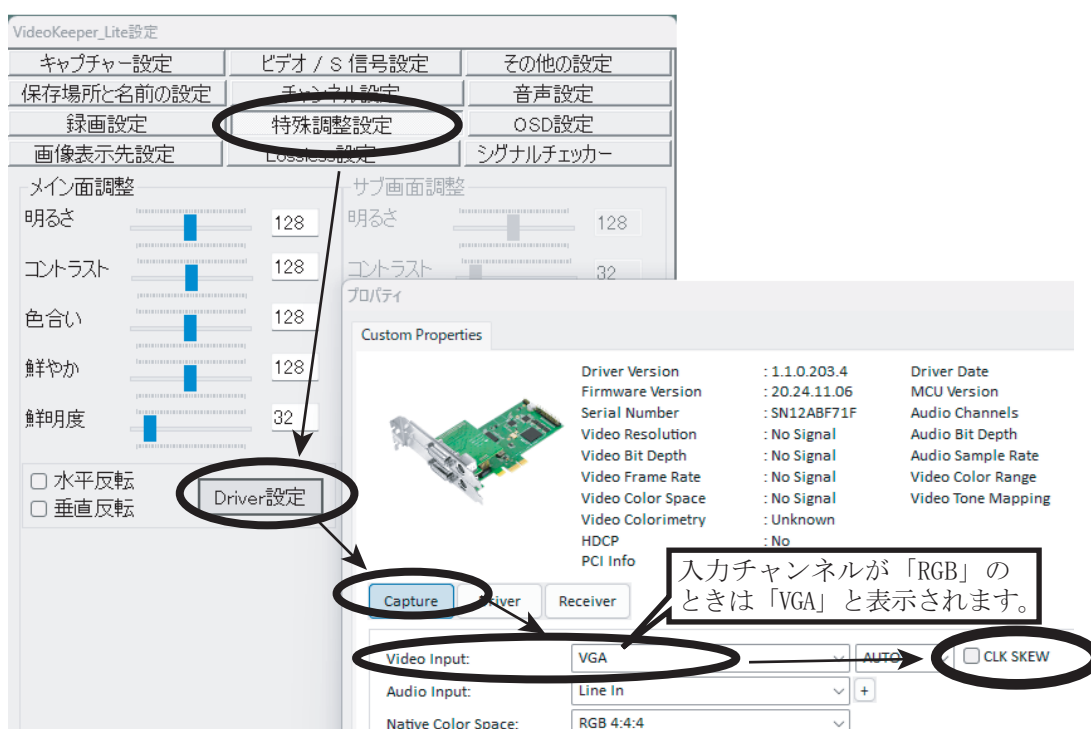
なお、ピンクノイズの原因はアナログ映像をサンプリングする際に発生する「ピクセルクロックの位相(スキュー)のズレ」が原因です(位相[スキュー]がズレることは希です)。

通常「位相(スキュー)のズレ」は調整できませんが、以下の操作を行うことで「鮮明度」の項目から調整することができるようになります。

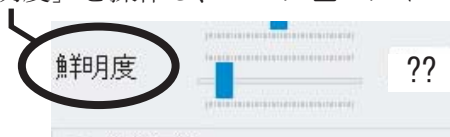
なお、対応可能な映像信号は「RGB (VGA)」のみとなっています。

<VideoKeeperLite から「カスタムプロパティ」を操作する方法>

- ①入力チャンネルは「RGB」を選択。その後「設定」をクリック。
- ②「特殊調整設定」をクリック。
- ③「Driver設定」をクリック。
- ④「Capture (キャプチャー)」をクリック。
- ⑤Video Inputが「VGA (RGB)」であることを確認後、「CLK SKEW」のチェック・ボックスをクリックして「☒オン」にします。
- ⑥表示位置の調整を完了する場合は「OK」ボタンを押してください。



- ⑦「特殊調整設定」の「鮮明度」を操作し、ピンク色のノイズが出ない位置に調整してください。



- ⑧表示位置の調整を完了する場合は「OK」ボタンを押してください。

※「位相(スキュー)」は、むやみに調整しないでください。画面に「ピンク色のノイズ」が発生した解像度をキャプチャーする際に利用してしてください。

●「TTL方式の複合同期(TTL Csync)」を出力する特殊な業務用機器のアナログRGB映像への調整

業務用機器は、映像信号に規格が無いものも多く、弊社製品の保証やサポートの範囲ではありませんが、パラメーターの直接入力で映る場合があります。パラメーターの直接入力には万能ではありませんので、表示を確認できた機器に限り、数値を入力してご利用いただくこととなります。

<VideoKeeperLite から「カスタムプロパティ」を操作する方法>

- ①入力チャンネルは「RGB」を選択。その後「設定」をクリック。
- ②「特殊調整設定」をクリック。
- ③「Driver設定」をクリック。
- ④「Capture (キャプチャー)」をクリック。
- ⑤「Video Input」の右側にあるプルダウンメニューから「SOH」を選択します。

※パソコンのセパレート同期や家庭用のゲーム機のアナログRGB信号（ビデオレベルの同期信号）は「AUTO」ですので、利用後は元に戻すようにしてください。

<同期信号設定の対応と種類>

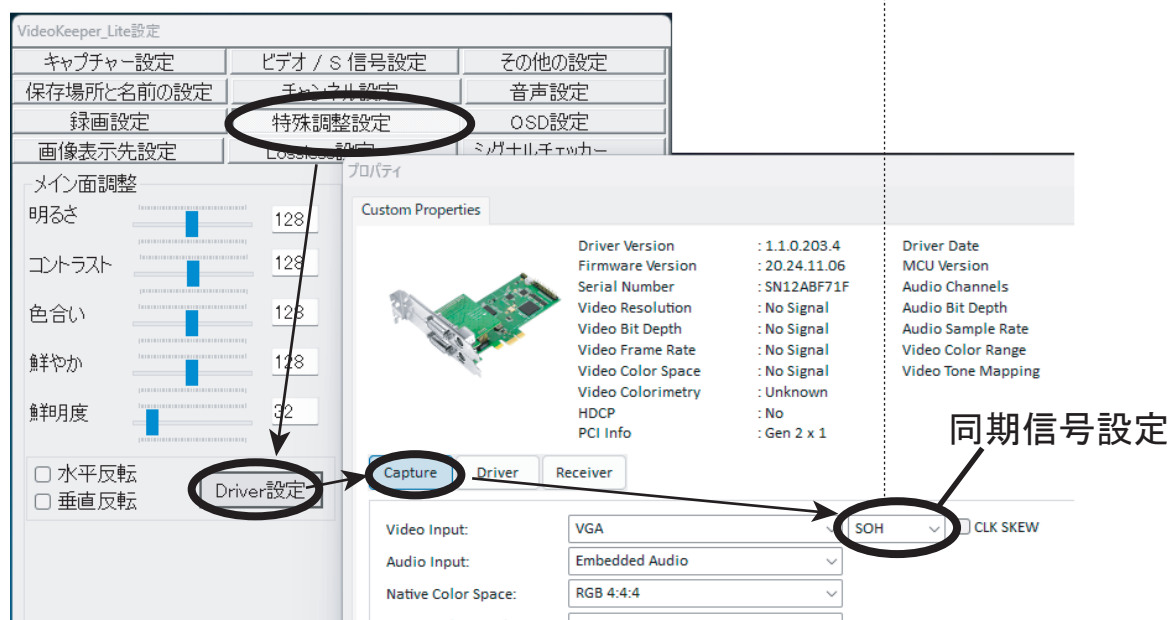
AUTO：アナログRGB映像信号で同期信号がTTL規格のセパレート同期信号または、家庭用ゲーム機のアナログRGB信号でビデオレベルの複合同期信号などに対応。[標準設定]

SOH：アナログRGB映像信号で同期信号がTTL規格の複合同期信号(TTL Csync)の場合。

※主に業務用機器向け

※「Customized Format Table」への数値手動入力時は必須

SOY/SOG：特殊な信号用です。



この状態で、映像が映っており、特に使用上問題がない場合は「OK」ボタンを押してそのままご利用ください。

映像が乱れたり、表示位置のズレや何らかの違和感が出て改善したい場合は、「⑥」以降の操作を行って、「Customized Format Table」などを設定してください。

次ページへつづく>>>

⑥ 「Receiver」 ボタンをクリック。

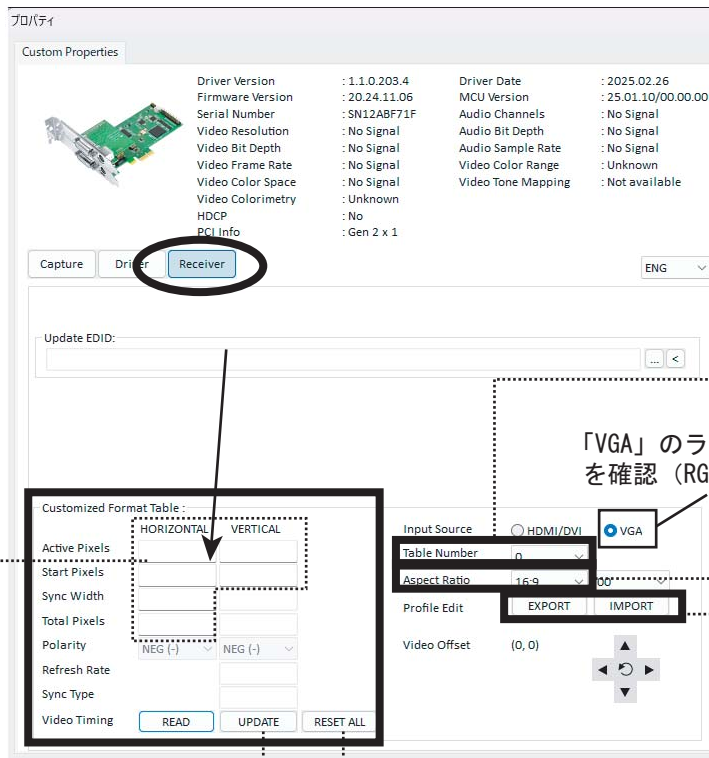
⑦ 機器の映像にあわせて公開されているパラメーターを手動で入力します。

⑧ 「Table Number」 を選択します（例えば「0」）。

⑨ 「Aspect Ratio(アスペクト)」を選択します（例えば「4:3」）。

※隣のプルダウンメニュー「00」は変更しないでください。

⑩ 「UPDATE」 ボタンをクリックし、プレビュー画面に反映させます。



⑨ プレビュー画面で映像がうまく映った場合は、「OK」 ボタンをクリックし、カスタム・プロパティを終了して、VideoKeeperLiteで録画などを行ってください。

＜映像がまったく映らなくなった、乱れてしまったなどでパラメーターを初期化する方法＞

パラメーターで間違った数値を入れた、今まで映っていたものが映らなくなった、などの場合は、「ALL RESET」のボタンをクリックしてください。その後パラメーターを入れ直すなどしてください。

＜TTL Csync「SOH」の利用を終了し、通常のRGB信号で使用する場合＞

これらのパラメーターの設定はあくまでも同期信号の種類がTTL Csyncの時に使用する同期信号設定が「SOH」のときにご利用いただくものです。あくまでも業務機器向けの特殊な用途向けです。

一般的なパソコンのセパレート同期や家庭用のゲーム機のアナログRGB信号（ビデオレベルの同期信号）ではかえって映像が乱れたり映らなくなります。

このため、パソコンのセパレート同期や家庭用のゲーム機のアナログRGB信号（ビデオレベルの同期信号）でご利用になる場合は、以下の操作で「標準の設定」に戻してください。

Step1: 「RESET ALL」 ボタンをクリックする（注：設定したパラメーターは消えます）。

Step2: 「Capture」同期信号設定を「AUTO」に戻す。

Step3: 「OK」 ボタンを押す。

＜入力した解像度パラメーターをファイルに保存する方法＞

一度入力したパラメーターはファイルに保存することができます（パラメーター部分のみ）。

「EXPORT」 ボタンを押して、ファイルとして保存してください。

※例えば、Windowsのユーザー・アカウントで自動で使われる、「マイドキュメント」「ピクチャ」などは指定して保存するとデータが空のファイルができてしまうため、必ずダイレクトでドライブとフォルダを指定してファイルを保存する必要があります。

＜解像度パラメーターをファイルから読み込む方法＞

上記でファイルに保存したパラメーターを読み込む場合は「IMPORT」 ボタンをクリックしてください。

ファイルがあるドライブやフォルダは、必ずダイレクトに指定してください。